

令和7年度 九州沖縄農業試験研究推進会議

果樹推進部会全体会議 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議 果樹推進部会長

1. 趣旨

九州沖縄農業試験研究推進会議運営要領に基づき、九州沖縄地域の果樹農業における研究の効率的な推進のための情報共有を行う。

近年極端化する気象条件への対応が喫緊の課題で、ここ数年は夏期の高温対策技術や高温耐性品種の開発が強く求められている。一方で、国研および地方公設研究機関は限られる研究資源のなかで、今後果樹産業を維持していくために新たな技術開発、品種開発を行っていくには、研究シーズの開発促進、研究の協働化の検討、研究成果の相互利用などによる研究の効率化も必要になってくると考えられる。そこで、今年度の全体会議では、温暖化の最前線である九州地域の温暖化影響の現状および今後の気象変動への対応研究について、大学側から研究提言を頂き、今後の九州地域での大学と公設研究機関との研究連携について議論する。

2. 開催日時 令和8年1月20日(火) 13:15～15:10

3. 開催場所 九州沖縄農業研究センター 大会議室(共同研究棟(2)2F) (〒861-1192 熊本県合志市須屋2421)

4. 参集範囲

九州農政局関係者、内閣府沖縄総合事務局関係者、県試験研究機関、普及機関関係者、農研機構(九州沖縄農業研究センター、果樹茶業研究部門、西日本農業研究センター、種苗管理センター)関係者および部会長が必要と認めた者

5. 議題

テーマ：常態化する極端気象の対応研究への九州沖縄地域での取り組み

司会 果樹推進部会長

1) 開会

2) 特別講演

「極端気象への対応研究～今後の取り組みの方向性、研究協力について～」(仮)
山本雅史 鹿児島大農学部教授

3) 話題提供

(1) 話題提供者 調整中 (長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門)

(2) 年内出荷が可能な果皮の紅色が濃いカンキツ「KC-5」の育成(仮)

仮屋萌々子(鹿児島県農業開発総合センター果樹・花き部)

(3) ドラゴンフルーツ品種「インパクトルビー」の育成と品種特性(仮)

伊地良太郎(沖縄県農業研究センター名護支所)

6. 資料提出・出席申し込み等

提出資料については別途連絡いたします。また、出席申し込みにつきましては、別紙によりお願いします。

7. 事務局

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421
農研機構九州沖縄農業研究センター内 果樹推進部会事務局
E-mail: k-kaju@m1.affrc.go.jp